

別添 1

令和 3 年度 DMA T 技能維持研修及び 統括DMA T 登録者技能維持・ロジスティクス研修実施要領

令和 3 年 6 月 15 日

令和 3 年 8 月 17 日 (改正)

1. 目的

本研修は、日本DMA T 隊員として登録されている者に対して、DMA T 活動に必要な知識・技術の維持、資質の向上を目的とし実施する。また、統括DMA T 登録者に対し、災害時にDMA T 本部の責任者として活動するために必要な知識・技術の維持、資質の向上を目的とした研修を実施する。あわせて、日本DMA T 隊員として登録されている者に対して、DMA T 本部における本部要員として活動するために必要な知識・技術の習得を目的とした研修を実施する。

また、今年度はコロナ禍においての研修実施にあたり、これまでの集合研修だけでなく e ラーニング研修、オンライン研修の形式を併用し、開催することとする。

2. 研修の種別

- ① DMA T 技能維持研修
- ② 統括DMA T 登録者技能維持・ロジスティクス研修

3. DMA T 技能維持研修

(1) 対象者

原則として、研修ごとに指定するブロックに登録されているDMA T 登録者。

ただし、定員に余裕がある場合、対象ブロック外からの受講も認めることがある。

(2) 受講者の推薦及び決定

① 受講者の推薦

受講者は、対象となる都道府県が希望者を選考し、厚生労働省DMA T 事務局（独立行政法人国立病院機構本部DMA T 事務局）に推薦するものとする。推薦の方法は研修ごとに厚生労働省DMA T 事務局が都道府県に別途連絡する。

② 受講者の決定

厚生労働省DMA T 事務局は、都道府県から推薦のあった者およびその他受講すべきと認められる者のうちから受講者を決定し、都道府県に通知するものとする。

(3) 研修形式の説明

e ラーニング研修、オンライン研修、集合研修の 3 種類を 1 回ずつ受講することで、技能

維持研修1回の研修を修了したものとする。

- ① eラーニング研修：eラーニングシステム上において任意の時間に講義動画を視聴するもの。約3時間の研修とし、オンライン研修前の受講を必須条件とする。
- ② オンライン研修：Web会議システム上において指定した日時に集合しグループディスカッション等を行うもの。約3時間の研修とし、集合研修前に受講することが望ましい。
- ③ 集合研修：指定した会場に集合し演習等を行うもの。1回あたり0.5日間の研修を実施。

(4) 修了証書

本研修を受講し、修了した者には修了証書を授与する。

(5) 研修事業実施施設

厚生労働省DMAT事務局が研修実施会場を選定し実施する。

(6) 受講定員

研修実施会場の収容人数、または研修参加講師の人数に応じて厚生労働省DMAT事務局が定める。

(7) 研修内容

以下の項目を標準とする。

- ① 過去の災害対応を踏まえた広域災害におけるDMAT活動（eラーニング研修）
- ② 本部運営と記録（eラーニング研修）
- ③ 病院支援のあり方・病院におけるDMATの受け入れ（eラーニング研修）
- ④ 避難所救護所活動（eラーニング研修）
- ⑤ DMAT活動拠点本部運営（eラーニング研修）
- ⑥ 広域災害救急医療情報システム（EMIS）の操作実習（オンライン研修）
- ⑦ 被災地での安全管理（オンライン研修）
- ⑧ 広域医療搬送と医療搬送カルテ（集合研修）
- ⑨ 病院支援のあり方・病院におけるDMATの受け入れ（集合研修）
- ⑩ 避難所救護所活動（集合研修）
- ⑪ DMAT活動拠点本部運営実習（集合研修）

4. 統括DMAT登録者技能維持・ロジスティクス研修

(1) 対象者

原則として、研修ごとに指定するブロックに登録されているDMAT登録者（職種を問わ

ない。

ただし、定員に余裕がある場合、対象ブロック外からの受講も認めることがある。

(2) 受講者の推薦及び決定

① 受講者の推薦

受講者は、対象となる都道府県がDMAT技能維持研修の希望者とあわせて選考し、厚生労働省DMAT事務局に推薦するものとする。推薦の方法は研修ごとに厚生労働省DMAT事務局が都道府県に別途連絡する。

② 受講者の決定

厚生労働省DMAT事務局は、都道府県から推薦のあった者およびその他受講すべきと認められる者のうちから受講者を決定し、都道府県に通知するものとする。

(3) 研修形式の説明

eラーニング研修、オンライン研修、集合研修の3種類を1回ずつ受講することで、統括DMAT登録者技能維持・ロジスティクス研修（以下、統括技能維持研修と言う）1回の研修を修了したものとする。

- ① eラーニング研修：eラーニングシステム上において任意の時間に講義動画を視聴するもの。約3時間の研修とし、オンライン研修前の受講を必須条件とする。
- ② オンライン研修：Web会議システム上において指定した日時に集合しグループディスカッション等を行うもの。約3時間の研修とし、集合研修前に受講することが望ましい。
- ③ 集合研修：指定した会場に集合し演習等を行うもの。1回あたり2日間（初日7時間、2日目6時間）の研修を実施。

(4) 修了証書

本研修の受講により、DMAT技能維持研修を修了したものとして、修了証書を授与する。

(5) 研修事業実施施設

厚生労働省DMAT事務局が研修実施会場を選定し実施する。

(6) 受講定員

研修実施会場の収容人数、または研修参加講師の人数に応じて厚生労働省DMAT事務局が定める。

(7) 研修内容

- 3.(7) DMAT技能維持研修の研修内容に加え、以下の項目を含むものを標準とする。

- ① DMATの指揮・調整のあり方（eラーニング研修）
- ② DMAT本部における広域災害救急医療情報システム（EMIS）の操作実習（集合研修）
- ③ DMAT都道府県調整本部の役割（集合研修）
- ④ DMAT活動拠点本部の役割（集合研修）
- ⑤ 搬送調整及びDMAT・SCU指揮所の役割（集合研修）
- ⑥ DMAT・SCU指揮所運営実習（集合研修）

5. その他

集合型研修については、旅費、滞在費及び宿泊費等実費相当分については受講者側の負担とし、受講者は、研修事業実施施設が指定する研修に必要な物品を持参するものとする。宿泊施設については、原則として受講者各自が確保することとする。

eラーニング研修及びオンライン研修については、受講者側が物品およびインターネット環境を準備するものとし、通信費は受講者側の負担とする。